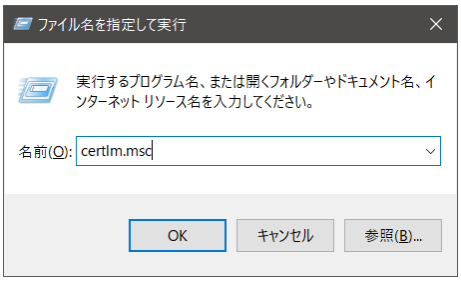
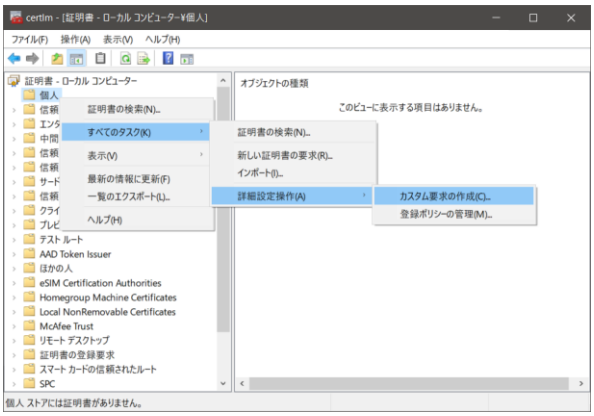
CSR ファイルの作成方法（Windows MMC）

サーバ証明書をインストールする Windows Server 上で作業してください。

1. 「ファイル名を指定して実行」へ「certlm.msc」を入力し実行します。

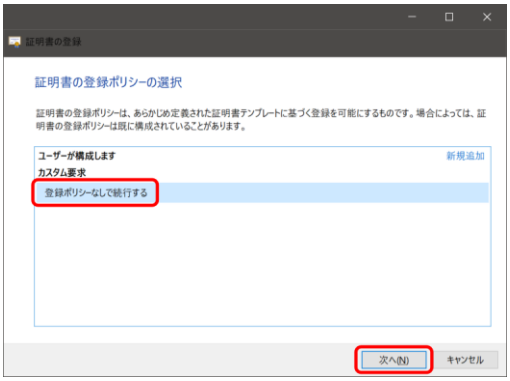


2. 「個人」を右クリックして表示されるメニューをたどり、「カスタム要求の作成」をクリックします。



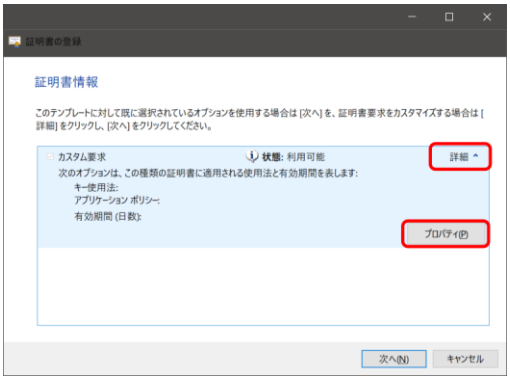
3. 「次へ」をクリックします。

4. 「登録ポリシーなしで続行する」を選択し、「次へ」をクリックします。

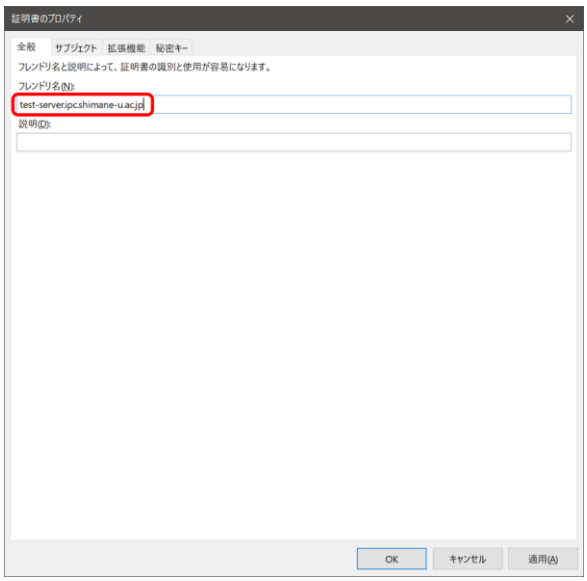


5. 「(テンプレートなし) CNG キー」と「PKCS #10」を選択し、「次へ」をクリックします。

6. 「詳細」を開いて、「プロパティ」をクリックします。



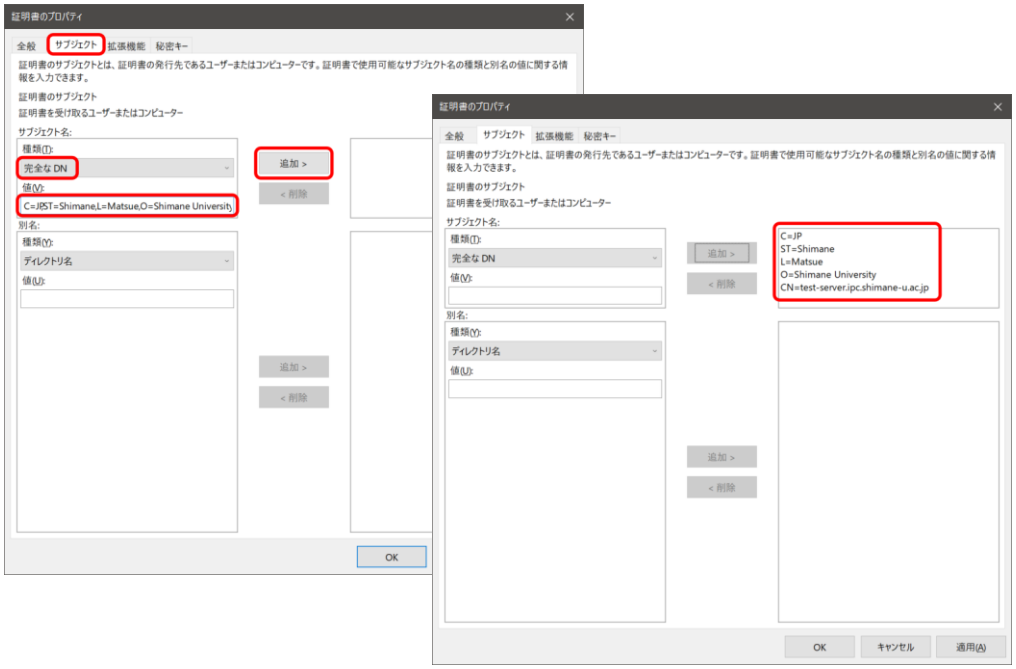
7. 「フレンドリ名」に、サーバ証明書を識別するための任意の文字列を入力します。



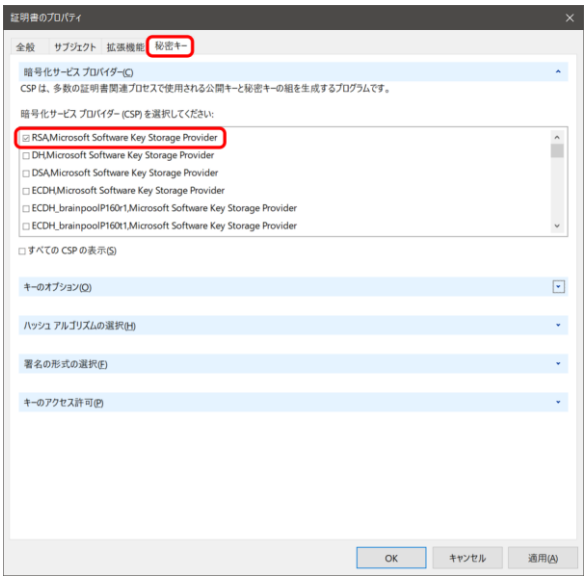
8. 「サブジェクト」タブを開き、「完全な DN」を選択後、以下の文字列を入力します。「追加」をクリックします。

   `C=JP,ST=Shimane,L=Matsue,O=Shimane University,CN=[Web サーバの FQDN]`

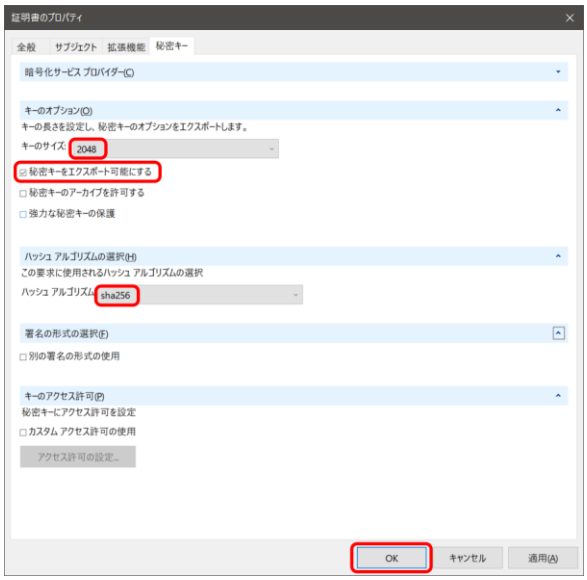
   ※`[Web サーバの FQDN]`には、サーバ証明書をインストールするサーバの FQDN を入力します。



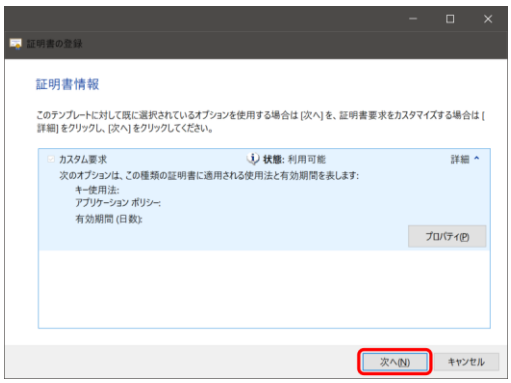
9. 「秘密キー」タブを開き、「暗号化サービス プロバイダー」欄にて「RSA,Microsoft Software Key Storage Provider」を選択します。



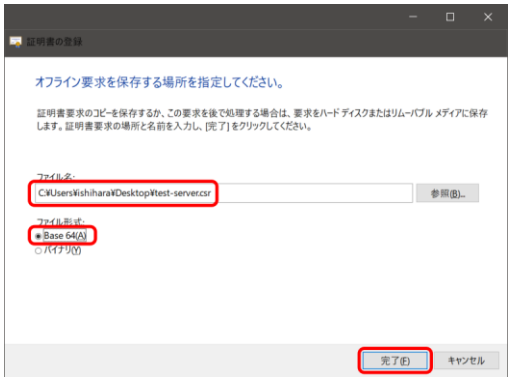
10. 「キーのオプション」欄にて「2048」と「秘密キーをエクスポート可能にする」を選択します。次に、「ハッシュ アルゴリズムの選択」欄にて「sha256」を選択します。「OK」をクリックします。



11. 「次へ」をクリックします。



12. CSR ファイル名を入力後、「Base 64」を選択し「完了」をクリックします。



13. 以上で終了です。お疲れ様でした。